平成27年度坂戸市提案型協働事業 粟生田・泉町の昔を伝承する活動

「屋号」

平成28年1月17日 泉町第一集会所

講師:綿貫 正太郎 氏

栗生田・泉町地域のむかしばなし

今回のテーマ「屋号」について

- 私の家を呼ぶとき 菓子屋家(栗生田菓子屋) 新聞屋家 先代の綿貫虎次郎が駄菓子製造、販売を始めたらしい 二代目・綿貫栄助 三代目・綿貫門 四代目・綿貫信太郎 新聞販売業は、昭和9年11月に 始めた。
- 安政2年1月に 高野山宿坊龍光院に 文政11年7月24日に亡くなった。 戒名「頓念妙盛信女」の月牌をお願いしている。
- **2** 移動手段は、カゴ、馬、舟などか 関所があり通行手形が必要だったのでは 帯刀をしていたのかどうか陣笠と刀あり(保存登録済み)
- 加、農機具には、焼印あり「 萬 」山に萬に屋号はよろず屋と 言われていたのかも?
- 26 昭和18年頃から物価統制があり砂糖などが手に入らなくなり新聞販売の方が 忙しくなり(当時・朝刊午前中、第1夕刊、午後第2夕刊あり) 菓子の製造・販売はやめて新聞販売だけに、家業は新聞販売と少し田・畑が あり半農半商であった。



平成28年1月17日 綿貫正太郎

「栄町・幸町通り」の商店

※岩殿観音参道絵図を みて書いてみました 平成28年1月17日

(新井)ブリキ屋 (安田)靴屋 (金田)

.無

儒.

음.

儒.

無.

塀:

(椎橋)桶屋

(山岸)繭(まゆ)

(春日屋)肥料屋 (元本)茶屋 (志村)仕立屋 (大野屋)菓子屋 (田島)セトモノ屋 (中川)つり具店 (中村) 呉服屋

(藤屋) 呉服

(金木屋)酒店 (秋山)豆腐屋 (石田屋)洋品·呉服 (長島)食料品 (新井)測量

> (安斉)洋服屋 (池田)下駄屋

> > (角屋)旅館

■ 薪屋(森田)

4 雑貨屋(戸田屋)

森田

☎ いかけ屋(森田)

畑

路切番(奥平)

畑

⑤ うどん屋(吉川家)

A 菓子屋·新聞屋(綿貫)

郷 パン屋(美好屋)

自動車(沼尾)

急 髪結い屋(佐藤)

▲ 仏師屋(斉藤・綿貫)

■ 蹄鉄屋・寿司(岸田)

畑)

₽ 戸口屋

粟生田^

■ 質屋(堀口)

魚 床屋(柴崎)

(秋山)

第 菓子屋(山家屋)

下駄屋(関根)

菓子屋(利根川)

急 氷屋(間々田)

靴屋(国友)

魚屋(藤田屋)

1丁目裏通り

自転車屋(山下)

■ 石屋(寺岡)■ 炭屋(栗田)

荒物屋(増尾)

酒店(井筒屋)

鑑 雑貨屋(いさごや)

坂戸の四つ角

(県道川越・坂戸・毛呂山線)

屋敷名ともいい、商店の通称も同類で、近代の ②家の本末関係(大屋・本家・新屋など)、③ る。つまり、①先祖名(久作・太郎兵衛など)、 正式な呼び名に転化した。近世の村々には同姓 ちにいわゆる「苗字(名字)」として「家」の で呼び分け(一条・三条・姉小路など)、ある 企業体の名称にもその跡をとどめる。都に集住 特徴(門屋・板屋・柿の木屋敷など)、⑤特殊屋敷の所在(東・中・南など)、④屋敷や家の いろいろであるが、およそ次の型に類別でき け継がれていまに至っている。屋号の呼び方は は屋号(屋敷名)を呼び習わし、累代それが受 「家」を区別したのはその先趾で、これらはの いは中世武家がその所領の在所名で同流の はこうした「屋敷名」が久しく伝流されてきた の由緒を示すものも多く、移動性の少ない村で 屋・栄屋などで新しい傾向)などで、「村住み」 (同苗字) の家が多かったこともあって、日常 した平安貴族が同系(氏)の「家」を居住地名 のである。 職業名(油屋・酒屋・紺屋など)、⑥嘉名(寿 やごう「家」の通称。家名、門名、

後の新職種の発生に伴っては、館・軒・堂・特の新職種の発生に伴っては、館・軒・堂・近江屋・伊勢屋など出身地を名のることが多く、また大丸・角三など「家印」にちなむものく、また大丸・角三など「家印」にちなむものく、また大丸・角三など「家印」にちなむものく、また大丸・角三など「家印」にちなむもの、ほ世都市の商家も同じく通称としての「屋

本・楼などをつけることが一般化し、また企業 本り残り、また「商標」の形でも若干残存しなり残り、また「商標」の形でも若干残存した。近世商家の屋号は、いわゆる「寒 して伝統ある商家の本末関係をまとめる「象 して伝統ある商家の本末関係をまとめる「象 として重くみられ、外に対しては店の由緒 を誇り、信用を博する手段ともなった。しかし 仲間内では村々の屋敷名と同じく、それぞれの 店の所在地を唱えて個別に呼び分けていた。城 下に集住した武家団にも同様「屋敷名」が生じ て通称となっていたが、その伝流は明治後絶 さいるにすぎない。近世都市の「居職人」の家 どめるにすぎない。近世都市の「居職人」の家 どめるにすぎない。近世都市の「居職人」の家 としなかったので、その伝流はほとんどみられ ない。

伝統はなおその跡をとどめている。〈竹内利美〉 伝統はなおその跡をとどめている。〈竹内利美〉 伝統はなおその跡をとどめている。〈竹内利美〉 に統はなお子の跡をとどめている。〈竹内利美〉 に統はなお子の跡をとどめている。〈竹内利美〉 に統はなおり、観客はその名で役者を変わばやす例も生じた。成田屋(市川団十郎)、 成駒屋(中村歌右衛門)、高麗屋(松本幸四郎) の類である。そして現在の家元制度下における の類である。そして現在の家元制度下における の類である。そして現在の家元制度下における に統はなおその跡をとどめている。〈竹内利美〉

< 小学館、日本大石舟全書より)